

2014年（平成26年）

ハタハタ情報 No.2

平成26年10月21日発行

中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

－後日にインターネットからもご覧いただけます－↓

マリンネット北海道 : <http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/central/index.html>

水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査期間】 2014年10月9日～10月19日

【調査海域】 留萌沖の水深200～300mの海域8調査点でトロールを曳網しハタハタの採集試験を行いました。計70尾（0歳魚を除く）の標本を採集し、体長測定などを実施しました。

- 採集状況は1マイル曳網あたり平均6.4尾と、昨年10月の調査を大きく下回る。先月の調査と同じく分布は薄い。
- 1歳魚と2歳以上の割合は同程度であるが、2歳魚の成長が悪いためサイズ組成は昨年と同傾向になる見込。
- 成熟の進行は1, 2歳ともにこれまでで最も遅い。沿岸前浜への来遊は11月末～12月初め頃か。1歳魚が多い場合はさらに遅れることも。

1. ハタハタの分布状況（図1）

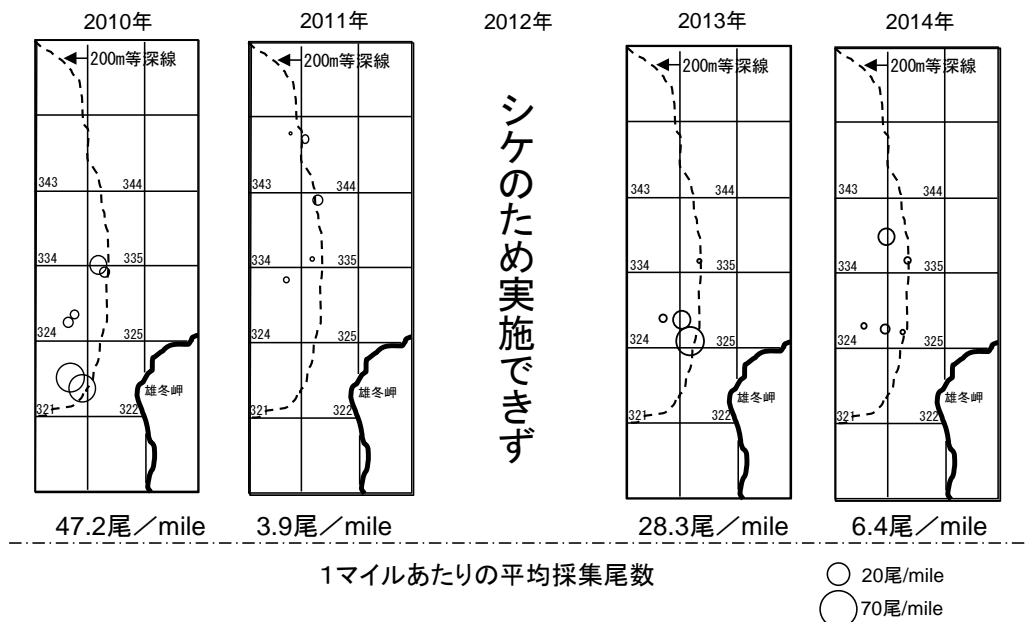


図1 10月トロール調査による採集尾数（0歳魚は除く）

今回の調査での平均採集尾数は1マイルあたり6.4尾と、昨年同時期を大幅に下回りました。先月の調査と同様（ハタハタ情報 No.1）、0歳魚の採集量は多かったものの、漁獲対象となる1歳以上の分布は相当に薄い状況でした。

2. ハタハタの魚体サイズと年齢 (図2)

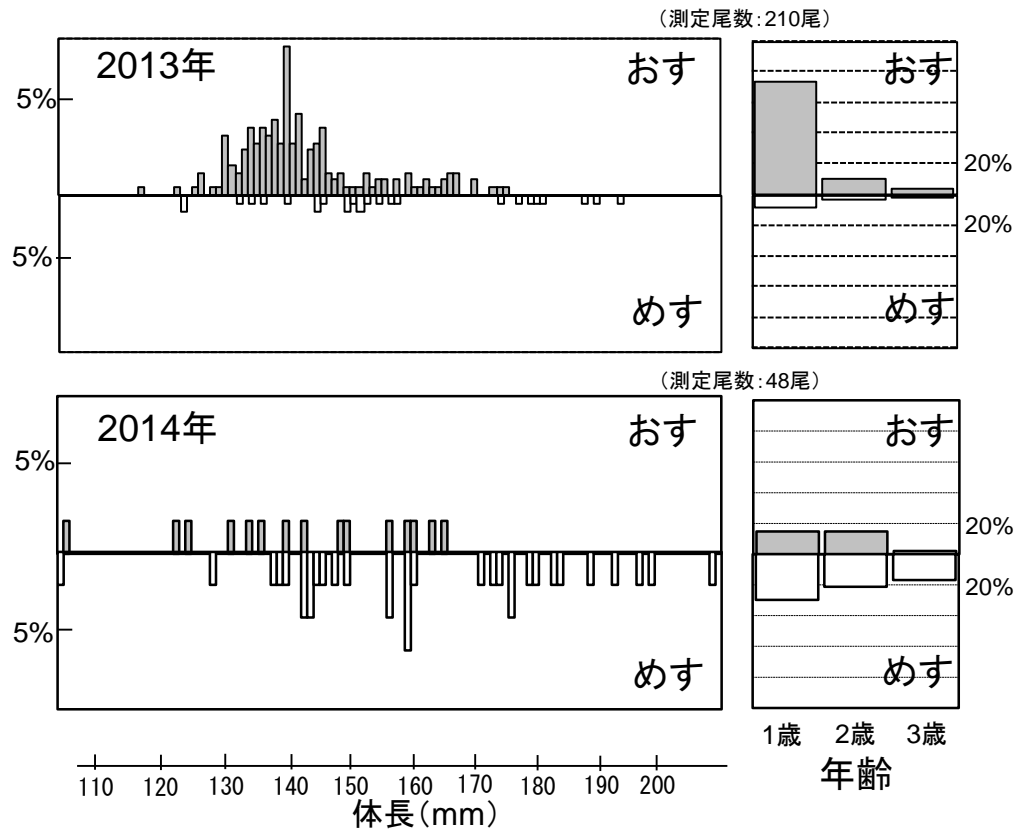


図2 今回の調査で採集されたハタハタの体長組成と年齢組成

上段図：昨年（2013年）調査 下段図：今回の調査 ※0歳魚は除く

今回の調査で採集されたハタハタの年齢構成は、1歳魚（2013年級）が45%、2歳魚（2012年級）が36%で、1歳と2歳以上の割合は同程度でした。2歳魚の平均体長は雄で155mm、雌で171mmと、昨年と同じく2歳魚としては小さい傾向がありました。今季の漁獲物のサイズ組成は、やはり1歳と2歳の割合が同程度となった昨年と同じような傾向になるのではないかと考えられました。

3. 成熟状態 (図3)

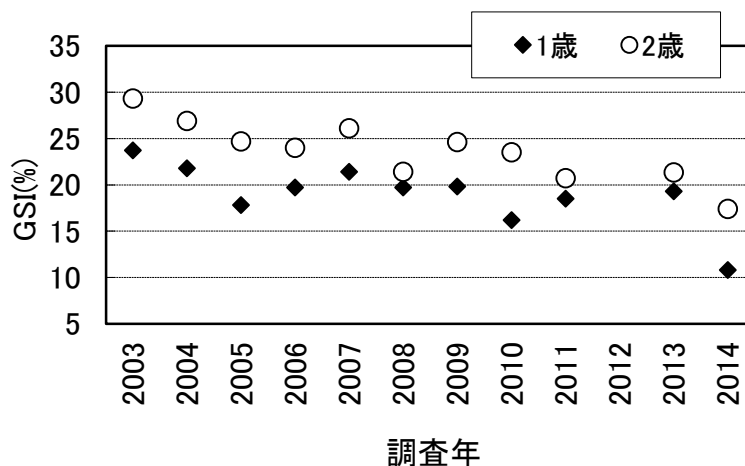


図3 毎年10月下旬のハタハタ雌のGSI (GSI=卵巣重量/内蔵除去重量×100)

ハタハタは成熟状態（生殖巣の発達状態）が進むにつれ、南下し沿岸にて産卵することが知られています。雌の体重に占める卵巣(ブリコ)重量の割合(GSI)は産卵が近づくにつれて大きくなり、沿岸に来遊する頃には40%前後の値となります。今回の調査で採集されたハタハタ雌のGSIは、1歳魚で10.8%、2歳魚で17.3%であり、2003年以降の調査の中では最も小さい値、すなわち遅い成熟となっていました。雄についても精巣の様子が例年の9月下旬頃の状態であることが観察されました。前例がない低いGSI値であったため、沿岸への来遊時期を予測することが困難な状況ですが、これまでのパターンから推測し、11月末～12月初め頃に2歳魚主体で来遊があり、1歳魚については相当に遅くなる・・というのが今のところの目安と捉えています。

4. 水温（図4）

今回の調査の中で行ったCTDによる雄冬沖の表層から底層にかけての水温測定結果を、同時期の過去5年平均値と併せて示しました。表層から水深50m付近までは16℃台で、例年と比べ若干高いものの際だった違いはなく、水深50mからハタハタの主分布水深である200m台にかけては1～2℃程度低めとなっていました。

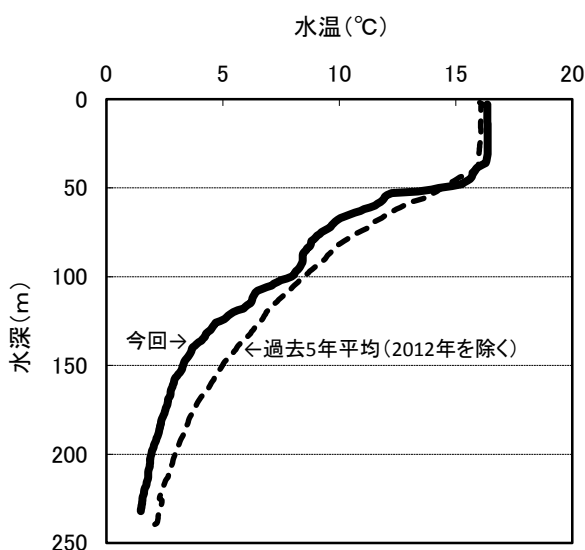


図4 雄冬沖の水温分布

5. 今後の調査など

今年度の雄冬沖における調査船トロール調査は終了です。関係漁業者の皆様、調査へのご配慮ありがとうございました。今後は、各漁業による漁獲物の標本採集調査などを実施いたしますので、重ねてご協力よろしくお願いたします。